

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ

第33号

平成19年12月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)



SEITOKU

聖徳学園ホームページ

<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属高等学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属聖徳高等学校
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳大学附属中学校
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳大学附属聖徳中学校
- 聖徳学園多摩中央幼稚園



音楽学部では音楽を通じた人間教育が最も重要なテーマです。



高橋大海先生 音楽学部では音楽を通じた人間教育が最も重要なテーマです。

Q1 学科の特色は？他大学の同系学科との違いは？

音楽の専門教育に三十七年の歴史をもつ聖徳学園。平成二十年四月より人文学部音楽文化学科が音楽学部(演奏学科・音楽総合学科)としてリニューアルします。今回は音楽文化学科の先生に話を聞きました。

音楽がもっと好きになる！

学部全体が音楽である意味

音楽文化学科

- 学部長 高橋 大海 先生
- 教授 八杉 忠利 先生
- 教授 一木 瑛美 先生
- 教授 高松 晃子 先生

主なトピックス

- ・インタビュー 音楽文化学科 音楽がもっと好きになる！
- ・和香庵 「優れた教育は、優れた教育環境から」
- ・合同運動会 幼児教育専門学校
- ・新体操 国民体育大会関東ブロック予選大会第2位 国民体育大会出場
- ・お店の工夫が分かった スーパーマーケット見学
- ・潮風をからだに吸い取りたい 附属小学校
- ・平成19年度 第三期 SOA 公開講座のご案内

INDEX

- 学園 1~2
- 大学院・大学・短大 3~4
- 幼児教育専門学校 5
- 附属中・高 5
- 聖徳中・高 5
- 小学校 6
- 幼稚園 6~7
- インフォメーション 8

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムISO9001および環境管理システムISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

ISO 9001 (教育の質マネジメントシステム) ISO 14001 (環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報紙です。本誌に関するご意見/ご感想を下記サイトに付けてお送りください。



得して卒業できればと思っております。

Q4 学生生活において知識・スキル以外に何を一番身に付けて欲しいですか？

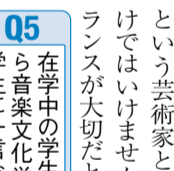
「高橋先生」見ることに、聴くことに、読むことに、聴くのは当然音楽ですが、ジャンルは関係ありません。広く聴きます。見ることはオペラだけでなく、絵画でも良いと思います。また旅行で見聞を広げることも良いことです。読むことは譜面だけでなく、活字であれば何でも良いのです。まずはいろいろな文章を読むことです。

「八杉先生」音楽学部の教育像は、音楽家育成であり、学生に音楽を通じて物を考えることに教育の原点があります。その感覚を磨くことが教員の役割だと思っています。音楽は生涯教育の一環で、生涯教育として最も太い柱が芸術だと思っています。



高松晃子先生 音楽家や芸術家としての精神が大切です。

「高松先生」教員採用試験対策として、昼休みを利用して音楽鑑賞教室を開催しています。事前にメールで曲の解説を発信して、週三回、同じ曲を聴いていきます。小中高等学校の教科書から知ってほしい曲を選び曲しています。



一木瑛美先生 フルートチームでは、音楽はチームプレイです。オペラでもオーケストラでも何百人が一つの音楽を作っています。

「高松先生」私は音楽オタクになって欲しいと思います。広く勉強するのも良いことですが、私はむしろ狭くても良いので深く追求し、勉強して欲しい。

「高松先生」音楽学部では授業の中で、第九やオペラの公演に参加できる喜びがあります。授業で学んだことが公演に結び

一つでもオタクをやると他を知ることに応用が利きます。「高橋先生」音楽は楽しいので、つらい時もありません。楽しい、つらいそれは波のように誰にも来ます。けれどどんな時も音楽が続くこと、それが一番大切です。一日休むと、二日戻る。一週間休むと一月以上戻るといわれ、せっかくの積み重ねがくずれてしまいます。どんな時も辛抱強く、忍耐強くやっ

ことだと思っています。高等学校までは問題に正解・解答があります。正しい学習をすれば必ず正解にたどり着きます。しかし、大学以後は正解があるかはわかりません。正解を見つければ、正解にたどり着く過程が学習であり、研究です。正解に一生たどり着かないかもしれませんが、追い求めることに意義があります。正解は人が探してくれるのではなく、自分が探すものです。

推薦コンサート



2008年1月13日(日) 13時00分開演 (12時30分開場)

- 入場料:1,500円(全自由席)
- 会場:サントリーホール 小ホール
- 主催:聖徳大学音楽研究センター

出演者	曲目
山本 矩子	ベートーヴェン:ピアノソナタ 第3番 八長調 作品2-3 第1楽章
菊池亜瑠美	ベートーヴェン:ピアノソナタ 第13番 変ホ長調 作品27-1 第3,4楽章
大沼紗和子	ベートーヴェン:ピアノソナタ 第18番 変ホ長調 作品31-3 第1楽章
飯笹 史佳	ベートーヴェン:ピアノソナタ 第26番 変ホ長調 作品81a 第2,3楽章
矢島 華恵	J.S.バッハ:トッカータ 第2番 ホ短調 BWV914
小牟 禮玲菜	ベルク:ピアノソナタ 作品1
村石 絵里	J.S.バッハ:パルティータ 第4番 二長調 BWV828
本橋 由圭	フォーレ:アンプロンプチュ 第3番 変イ長調 作品34
	ヴァルス・カプリス 第2番 変ニ長調 作品38
佐藤 弥生	ラフマニノフ:ピアノソナタ 第2番 変ロ短調 作品36(1931年)
島村 結花	バッハ=ブゾーニ:シャコンヌ
鈴木 花織	リスト:(2つの伝説) 1. 小鳥に説教するアッシジの聖フランシスコ
	2. 波を渡るパオラの聖フランシスコ



和香日庵

「優れた教育は、優れた教育環境から」

本学園の建学の精神である「和」の教えを香りゆかしく後世に伝えるため、昭和



五十七(一九八二)年、先代の裏千家御家元 千宗室 宗匠(現、鵬雲齋汎叟 千

この移築には、再び京都の山本棟梁の手によって「大ばらし」と呼ばれる、柱と柱を枠のように壁ごと取り外してそのまま移動させる工法で、滞りなく行われました。

さらには、屋上庭園を眺めながら茶会が楽しめるようにつくられた十帖二間続きの作法室があります。茶室の外回りには庇が設けられ、作法室へ続く壁には白竹を貼るなどの細かい工夫がされています。

この新しい一歩足を踏み入れた茶室に、全くの別世界で、まるで五百年前に立ち戻ったような不思議な感覚に落ち居ります。茶道は室町時代に生まれ、千利休によって確立されました。現在では世



界の国々にその作法が広まっており、二期一会」とい言葉で代表されるように、誠実な心で人に接する出会いを大切にしています。まさしく、心が清められるような場所が「和香庵」です。

Series Concert

聖徳大学シリーズコンサート 第四回オペラ公演

「魔笛」を終えて

フィリハーモニーオーケストラで行われました。シリーズコンサートへの登場は昨年に続き二度目となりましたが、今回も一般チケットは即完売し、チケットを入手できなかった方々にもご覧いただけよう、前日二十五日(木)にはゲネプロ(本番直前の最終リハーサル)を公開し、多くの方々にお越しいただきました。公演が始まると、ドラマの展開を見守る凛とした空気が会場を満ち、また、楽しい場面では本学生も一般のお客様と共に笑い声を上げ、公演終了後には、一般のお客様から「音楽を満喫し、ドラマに引き込まれ

てオペラの醍醐味を味わった」という声もありました。来年、本学園は創立七十五周年を迎えますが、これを期に音楽文化学科は音楽学部へと発展します。また、創立七十五周年記念行事として二〇〇八年九月二十八日(日)サントリーホールにて、「魔笛」の公演が決定いたしました。引き続き二〇〇八年十月二十四日(金)にはシリーズコンサートとして再度登場いたします。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

香和会 大学・短大同窓会

聖徳の和と絆を深める支部パーティー 今年も全国七支部で開催

聖徳大学の同窓会である香和会は、卒業生七万人を数え、来年学園創立七十五



9月23日(日) 北陸・上信越支部パーティー

周年の年に、四十周年を迎えます。創立三十周年の記念事業として始まった支部作りも、現在は七支部となり、毎年秋には全国各地で懐かしく、笑顔いっぱい支部パーティーが行われます。他大学には無い支部パーティーの特徴は、なんとと言っても川並弘昭学園長自ら参加し、卒業生の人生あふれる近況報告を聞き、学園の発展を熱く語ってくださいです。また、川並弘純副学園長、川並芳純附属中高校長、川並孝純事務局次長が、次世代の聖徳の心を伝えてく

ださいます。

平成十九年度の支部パーティーの一番手は、九月二十三日(日)北陸・上信越支部(横山ちづる支部長)です。新潟県直江津のホテルセンチュリーイカヤで、学園長事務局次長を含め参加者十五名で開催されました。ここ数年、地震の被害に見舞われ、今年も中越沖地震があつた地域にもかかわらず、学園長先生に一目でもお会いしたいと五分間顔を覗かせてくれた小学校教員の会員、養護教諭として三十五年務め上げた会員、保育士として子育て後、職場復帰を遂げた会員、中学校事務職員として活躍している会員等、二人ひとりが誠実で地道な聖徳らしさと新潟の暖かい土地柄を表していました。

二番手は、十月十三日(土)

近畿・中国・四国支部清藤知子支部長が、兵庫県神戸のニューオータニ神戸ハーバーランドで、学園長、副学園長を含め十五人と子ども一人計十六名で開催されました。阪神大震災以後はじめて神戸で開催された支部パーティーでしたが、滋賀県近江八幡から一回生の会員、岡山県倉敷から参加の会員、

高松から小学校臨時教員をしている初等教育三十回生の会員、遠く福岡県から三歳のお子さんと参加した元事務局に勤めていた太田(旧姓野口)さんまで、広範囲の会員の参加と、支部スタッフのミュージックベルの演奏で盛り上がった支部パーティーでした。その後十月二十一日(日)静岡での甲州・中部・東海支部(稲垣洋子支部長)、十月二十八日(日)仙台での北海道・東北支部(石川優子支部長)、十一月三日(土)那覇での九州・沖縄支部(豊川洋子支部長)が行われ、今後は十二月九日(日)大学での北関東支部(中川庸子支部長)、南関東支部(広瀬晴美支部長)合同支部パーティーが続々開催されます。

聖徳菊水会 同窓会連合会

評議員会開催される

去る平成十九年六月二日(土)に、聖徳大学生涯学習社会貢献センターにおいて、聖徳学園同窓会連合会第四回評議員会が開催されました。

開会にあたり、川並弘昭同窓会連合会長から「聖徳学園の同窓会員も約十三万人となりました。同窓会がますます元気になるように、これからもどうぞよろしくお願ひします」と挨拶がありました。評議員会では、平成十八年度収支決算・平成十九年度収支予算及び平成十八年度事業報告・平成十九年度事業計画について協議が行われました。

平成十八年度事業報告の中では、利根山光人先生のガラスモザイク壁画「若さ」の移設作業風景(大学校舎の改築に伴い、旧一号館から新一号館へ移設)を同窓会連合会公式ホームページへ掲載した事が報告されました。下段のURLにアクセスし、皆様もぜひご覧下さい。平成十九年度事業計画の協議の中では、聖徳フラッシュ八月号でもご紹介した通り、同窓会連合会の愛称を「聖徳菊水会」に決定しました(三十四件の応募があり、森田節子さんの作品に決定)。併せて、「聖徳菊水会」の名を広く知ってもら

うため、同窓会連合会から各学校の卒業(園)生へ記念品を贈呈することにいたしました。来年は聖徳学園創立七十五周年という大きな節目を迎え、聖徳菊水会(聖徳学園同窓会連合会)の更なる充実・発展を目指し努力して参ります。



生涯学習研究所と学生のかかわり

十月六・七日(土・日)に行われた「松戸まつり」の協力企画として、聖徳大学生涯学習社会貢献センター(聖徳大学十号館)二階ギャラリーでは、『郷土玩具を楽しもう展―遊ぶ・動かす・からくり玩具―』を開催し、だるまやからくりで動く玩具、笛など音の出る玩具、人形遊びの玩具、凧などを展示しました。SOAの「生きがい探しの時代」の受講生により結成された「創年くらぶ」のメンバーや、市民大学講座「郷土玩具を知る・学ぶ・展示する」の受講生がガイドを担当しました。多くの来場者はからくり玩具の実演や実際に自分で動かす体験などを楽しんでいました。



また、伊勢丹通り商店会では、聖徳ビーチーズ、生涯教育文化学科、児童学科生涯学習指導者コース、生涯学習研究同好会「りりーず」、ボランティア同好会、ハワイアンダンス同好会など

どの学生とともに「ふわふわぞうさん」、「ナインゴールバスケット」、「ストッパザウルス」、「バウンドシュート」などの遊具の誘導・案内を行いました。そして、「聖徳わくわくイベント」として、学生が企画したハワイアンダンスやピエロに扮しての大道芸・バルーンアート、シャボン玉ショー、子ども向けの体操やクイズ大会、ゲーム大会など行い大成功を収めました。



オープンキャンパス実施報告

来校者の満足度向上を目指して

多くの受験生・高校生に来校して頂けるよう、毎月一〜二回、年間計十六回ものOCを実施しています。



高校生の進学先を検討する際に、重要な判断材料となるイベント、それはオープンキャンパス(以下OC)です。本学では、少しでも

また、保護者の方にも足を運んで頂けるよう日曜日開催とし、予約不要・入退場自由としています。肝心の中身につきましては、毎回新しい内容を企画し、時期に応じたものや、受験生にとって有益なものを実施できるようにしています。今回はその一例として、去る十月十四日(日)に開催したOCを皆さんにご報告させて頂きます。

十月十四日(日)、曇り。受験生と保護者を合わせて二百五十名以上の方にお越し頂きました。当日は、入試相談やキャンパスツアー、在学生とのトークなどの定番メニューに加え、推薦入試直前の受験生に役立つメニューとして「面接必勝講座」「面接入室・退室練習コーナー」「作文必勝講座」を実施しました。また「楽しい学び体験」というコーナーでは、来校者参加型のメニューを取り入れ、児童学科の学生による手遊びや、英米文化・外国語学科の学生による英語のゲームなどを実施しました。



このように開催時期を踏まえた、机上の説明だけでなく、来校する受験生の満足度を上げる方法として手ごたえを感じています。これからの来校者の満足度の向上を目標に、少しでも多くの受験生の皆さんに足を運んで頂けるようイベント運営に努力していきます。

通信教育部

入学説明会をリニューアル

通信教育部では毎月一回の入学説明会を実施していましたが、九月三十日(日)・十月二十八日(日)の二日間、聖徳大学の通信教育部をより知っていただきたいという思いから、入学説明会をリニューアルしました。今までの説明会は全体説明会が中心でしたが、今回実施した説明会では個別相談コーナーや在学生・卒業生による相談コーナーを設け、一対一の対面式を重視した相談を中心に行いました。通学とは異なり通信教育で学びたいと考えている方、免許取得だけを希望している方、仕事をしながら学びたい方や育児や介護をしながら学ばれる方といったように一人ひとりが様々な境

遇を持っています。そのため全体説明会のみでは、知りたかった内容を全てカバーできないのではないかと考え、今回のような対面式説明会の実施となりました。今回の説明会のもう一つの目玉として、キャンパス見学があります。通信の学生は学内施設を利用できないと誤解をしている入学希望者も多く、誤解を解くきっかけになればと思います。キャンパス見学を実施しました。

入学説明会は例年に比べ、倍近くの方に来訪していただき、入学希望者のニーズに少しは応えられたのではないかと思います。四月生の募集時にも今期の反省点を生かし、より充実した入学説明会の実施を目指していきたいと考えておりますので、ご興味のある方がいらつしやいましたら、是非ご参加ください。

※前号に誤植がありました。『児童学部』→『人文学部』児童学部は、二〇〇八年四月の新設です。

「かすが荘」にゲートボール場がオープン



本学園セミナーハウスかすが荘(長野県佐久市)に、このたびゲートボール場が新設され、十月二十五日(木)に開場式が行われました。当日は、秋晴れに恵まれ、

学園関係者をはじめ、地元の官公庁、ゲートボール協会等関係者の方々総勢八十八名のご出席をいただきました。式典は川並純副理事長及び地元有力者五名によるテープカットに始まり、始球式、地元ゲートボール協会関係者によるオープンニング戦、落慶法要と続き、つづがなく執り行われました。式典の祝辞の中で、佐久市長代理の佐久市教育委員会教育長の木内清様からは

「温泉とゲートボールをセットで楽しみながらの健康づくりが期待される。また、望月地区体育協会会長の土屋東一郎様からは「ゲートボールの大きな大会をかすが荘に誘致するように体育協会もバックアップしたい」との力強いお言葉を頂きました。式典終了後には、かすが荘のレストランアコルにて祝賀会が行われ、地元の望月小唄保存会の皆様によるアトラクションなどが行われ、盛況裡に幕を閉じました。



始球式

爽和会 フラワーアレンジメント&押し花 体験講座



爽和会では、毎年附属中学校・高等学校の聖徳祭の一般公開日に、卒業生による「フラワーアレンジメント&押し花 無料体験講座」を行っています。講師は五期生の横田正子さん、佐藤寿子さん、篠原久美子さんの三名です。今回で六回目を

数え、リピーターも多く大好評の企画なので来年も実施予定です。興味のある方は、ぜひ足を運んで下さい。最近では、爽和会の活動も少しずつ活発になってきました。卒業生からの情報も寄せられるようになり、十一月は音楽科卒業生による演奏会が二回実施されました。十八期生が十一月十日(土)船橋のきららホールで、十九期生が十一月二十四日(土)、附属高校の奏楽堂で演奏会を行いました。卒業



生の活躍する姿は、現役の中学生・高校生の励みにもなっています。これからもいろいろな形で爽和会の「和」が広がるよう努力していこうと思います。

第43回 聖徳祭



♡PASSION♡
～熱き想いを胸に～



去る十一月十日(土)・十一日(日)に行われた聖徳祭は昨年引き続き、大変活気のあるものとなりました。今年のテーマは『PASSION♡』熱き想いを胸に。ここには今回の聖徳祭へ向けた学生たちの意気込みがこめられており、その思いが学園祭を盛り上げていきました。

去る十一月十日(土)・十一日(日)に行われた聖徳祭は昨年引き続き、大変活気のあるものとなりました。今年のテーマは『PASSION♡』熱き想いを胸に。ここには今回の聖徳祭へ向けた学生たちの意気込みがこめられており、その思いが学園祭を盛り上げていきました。

この他にも、一日目に行われたスポンジバレーボールでは、学生・教職員・教職員と学生の混合といった様々な形でつくられたチームが熱戦を繰り広げ、二日目にはハンドボール・バスケットボール等の招待試合が行われ、選手達は思い思いのプレーで試合を盛り上げていました。



第四十三回 保育表現研究発表会を 終えて



去る十月六日(土)に行われた児童学科・児童学科夜間主・保育科I部・保育科II部二年生による第四十三回保育表現研究発表会を無事終了することができました。発表会当日は、保護者・先生方をはじめたくさんのお客様にもご来場頂き、熱い拍手を頂きました。二年生の演技者もそれに影響を受けて、一段と磨きのかかった



ここで得た経験は、将来教育者として巣立つための糧となったに違いありません。

ヨーロッパ研修旅行 第一班に参加して

人文学部児童学科

九月十九日(水)、私達は成田から十二時間の空の旅を終え、ドイツのフランクフルトに到着しました。午後六時を過ぎるといよいよの空はまだまだ明るく、そしてドイツの空気がとても澄んでいるように感じられました。

今回の研修旅行では、ドイツ、スイスの文化遺産や博物館、美術館を見学する他に、一つの施設と二つの小学校を訪問しました。

見張るものがありました。ロココ様式の装飾が素晴らしく、天井や壁面がフレスコ画で覆われていたのです。いつかまた、ここに来てみたいと思える教会でした。

この研修旅行によって、毎日が貴重な体験続きの二日間を送ることができました。この体験を、これからの生活に活かしていきたいと思えます。



人文学部児童学科 小学校教員養成コース 三年Bクラス 青柳 香織さん

五日目に行くはずだったドイツのマリーエン広場が

ができました。外観は牧場に囲まれた一般的な教会ですが、内部の美しさは目を

をさせていただきました。午後十三時三十分～十五時までは十四名一クラスを一名の教師が担当して、アメリカ文化を中心に有意義な授業を展開していただきました。

カンリーグのシアトル・マリナーズ対オークランド・アスレティックスとの野球観戦や、サンフランシスコのカラン劇場でミュージカルを鑑賞して、異文化芸術を堪能する機会を持ちました。さらに、サンフランシスコ一日研修ツアーでは、ゴールデンゲートブリッジを渡り、市内観光やフィッシュマンズ・ワーフでの昼食、ケーブルカー乗車など、授業を離れて心に残る楽しいひと時を満喫することができ、大変充実した語学研修になりました。

第16回 アメリカ語学研修について



第十六回目となる今年度は、英米文化学科の二・三年生合同で九月二日(日)から二十四日(月)までの二十三日間、研修を行いました。アメリカは九月が新学期であり、最近ではミルズの学生だけで寮が満杯になるため、本学の学生はアメリカ滞在在初日から二名一組でホームステイをしました。幸い今年もホストファミリーに恵まれ、三週間家族とともに生活をしながら、アメリカの文化や家族のあり様を学び、有益に過ごすことができました。

ミルズでは午前九時三十分～十二時まで、教師二名がそれぞれ七名二クラスを担当して、大変すばらしい授業

今後、学生一人ひとりが、この貴重な体験を英語の上達へと結びつけてくれることを願ってやみません。

英米文化学科では、平成四年度より英語のコミュニケーション能力を伸ばす事と、異文化理解を深める事を教育目標として、三年次生を対象にカリフォルニア州オークランドにある名門女子大学ミルズ・カレッジ(以下ミルズと略す)で語学研修を行っています。

ミルズでは午前九時三十分～十二時まで、教師二名がそれぞれ七名二クラスを担当して、大変すばらしい授業

間を縫って、カリフォルニア大学のバークレイ校に行き、学生にインタビューをしたり、オークランド球場でアメリカ

を願ってやみません。

幼児教育専門学校



合同運動会



十月十四日(日)、秋晴れの中、聖徳学園三田幼稚園との合同運動会が、隣接の港区立三田中学校にて行なわれました。今年も、天候について心配されましたが、当日は晴天に恵まれての開催となりました。午前の部では、専門学校生によるマスマゲーム、ダンス、クラス対抗リレーに加え、三田幼稚園園児とのダンスに学生達が参加させていただきました。園児の明るい笑顔の前に、幼児教育の大切さと素晴らしさを改めて学生一人ひとりが実感する事ができました。

恒例の仮装行列では、園児や保護者の方々にも楽しんでいただけるような、人気のキャラクターを題材にして、昼休み、放課後を利用し、クラス一丸となつて作成した成果を発表することができました。午後の部では、保護者の方や園児の綱引きを見学し、さらに自分たちも綱引きに参加することで心を一つにまとめ、力をあわせることがいかに素晴らしい事かを感じていました。早朝からの運動会も瞬く間に終了し、後片付けにも全員参加することで、演技、競技をする立場と、それを支える役割の両方が経験できる、専門学校ならではの貴重な合同運動会になりました。学生たちにとって心に残る、将来現場に出たときに役に立つ、充実した思い出になつたと思います。

聖徳中学校・高等学校

新体操 国民体育大会出場



八月二十三日(木)から二十四日(金)まで、彩の国くまがやドーム体育館埼玉県熊谷市を会場に第六十二回国民体育大会(秋田国体)関東ブロック新体操大会が開催されました。茨城県は聖徳高校のみの単独チームとして大会に挑みました。結果はロープ・円城寺春香が五位、フープ・明石悠理恵が一位、クラブ・秋山幸が一位、リボン・高橋莉奈が一位で、個人総合第一位となりました。また、個人の四名に市川奈奈が加わった団体においては、東京に次ぐ第二位となりました。

八月二十三日(木)から二十四日(金)まで、彩の国くまがやドーム体育館埼玉県熊谷市を会場に第六十二回国民体育大会(秋田国体)関東ブロック新体操大会が開催されました。茨城県は聖徳高校のみの単独チームとして大会に挑みました。結果はロープ・円城寺春香が五位、フープ・明石悠理恵が一位、クラブ・秋山幸が一位、リボン・高橋莉奈が一位で、個人総合第一位となりました。また、個人の四名に市川奈奈が加わった団体においては、東京に次ぐ第二位となりました。

附属中学校・高等学校

第25回 聖徳祭



今年の聖徳祭のテーマは「虹」(明日へつながる道)で、自分達の気持ちを虹の七色に表現し、それに向けて夏休み前から準備をしてきました。聖徳祭実行委員長は「雨上がりの澄んだ空に架かった虹の輝きは、見ているだけで暖かい気持ちになり、私達自身そんな風に輝いたら」と、そして、明和会会長は「虹というのは見た人を一瞬で喜ばせ、元気づけてくれます。この聖徳祭も、短い時間ではありますが来ていただいた方に喜んでいただけるように一生懸命準備をしてきました」と語っています。そのような気持ちです。

開催した聖徳祭当日は、大勢のお客様を迎えることができました。一日目にオープニングセレモニーが行われ、その後中学生は英語劇コンテスト、高校生は準備を兼ねての会場公開が内部で行われました。二日目は一般公開日で、お客様は、高校二年生がテーマに沿ってデザイン・製作した、校門にあるアーチをくぐり校内に招かれます。九時に開会し、二日間で来場者は昨年を越えて約二千九百名を数えました。この数からも年間を通して本校の一番大きな行事である

と言えます。今回は、七十七団体八十五企画の参加がありました。お客様のアンケートを見ると全体の九十五六%の方が展示や発表に対して、又、来校者に対しての生徒の対応について「大変良い」、「良い」と評価していただき、今回の聖徳祭が非常に好評だったことが窺えました。中には「私立の文化祭らしく落ち着いた雰囲気でも良かった」と語ってくださった方もいました。生徒達だけがお祭り騒ぎをして楽しむような文化祭ではなく、節度あるものであったと感じられました。明和会役員、各種委員会の委員長で構成される聖徳祭実行委員の生徒や、後援会評議員とボランティアの保護者の方々、更に生徒と共に展示会場準備に携わった教職員全ての力が結集した結果、この聖徳祭を成功させることができました。

文化祭



十一月三日(土)、さわやかな秋晴れの中「聖徳にこにこまつり」が開催されました。専門学校では、十月中旬より校舎五階の壁面に「聖徳にこ



にこまつり」の垂れ幕を掲げ気持ちを高めてきました。毎年にこにこまつりを楽しみに来園、来校される方々が、楽しく満足できる一日になる

「聖徳にこまつり」

ように、一年生は自分達の役割り分担を決めて、責任を持って準備し取り組みました。各クラスでパート分割を行い、能率よく子どもコーナーの設置、遊びの工夫をし、階段や廊下は、飾り付けがなされ魔法がかかったような空間に変身しました。児童文化Ⅱの人形劇は、子ども達の大好きなコーナーです。児童文化Ⅲは子ども達の心の中に残り、伝承していきたい昔ばなしを絵巻物として仕上げ、教材作りに取り組みました。また、手作りおもちゃの作品も展示されています。

平成十九年度音楽科 定期演奏会を終えて



十月十三日(土)、午後二時三十分から聖徳大学川並香順記念講堂にて、今年度の音楽科定期演奏会を開催しました。プログラムは二部構成

成で、第一部はソリストの演奏、第二部は女声合唱と吹奏楽部の演奏でした。6M 渡會さんの電子オルガン独奏で始まり、5M 落合さんのオーボエ、5W 安藤さんのマリンバ、4M 子島さんのピアノ、6M 高橋さんのフルート、6M 松本さんのソプラノと続き、一部の最後は6M 大江さんのピアノ独奏でした。

ソリストの生徒たちは自分の持ち味、個性を發揮し、質の高い演奏を披露しました。第二部では、音楽科兼任講師木村先生の指揮のもと、音楽科M組の生徒による女声合唱で、メンデルス

ゾーン作曲の「三つのモテツト」より「来たれよ主よ」と「子供たちよ 賛美せよ」の二曲を演奏しました。この曲はパイオルガンの伴奏が付いており、パイオルガンを担当したのは、6M 中澤さんです。川並香順記念講堂に荘厳なパイオルガンの音色が響き渡り、まさに教会の中にあるような錯覚を覚えました。吹奏楽部の一曲目は、今年九月に行われた第十三回東関東吹奏楽コンクールにて、千葉県代表として演奏した「ロメオとジュリエット」でした。その後、雰囲気はがらりと変わり、吹奏楽部生徒全員による楽しいステージが繰り広げられました。演奏した生徒はもちろん、来賓や保護者の方々も大いに楽しんでいただけたかと思えます。



附属小学校

心が一つになった聖徳祭

十月二十日(土)、心配だった天気も回復し、附属小学校の聖徳祭が盛大に行われ、当日は、千人近いお客様をお迎えすることができました。

附属小学校の聖徳祭は三つの柱から成り立っています。一つ目は、全校児童による舞台発表。二つ目は、各学年の展示発表。三つ目は、後援会によるさまざまな催しです。

一つ目の舞台では、一年生は劇「ザリガニたんけんたい」、二年生は音楽劇「スイミー」、三年生は群読「泣いた赤オニ」、四年生は劇「六月のカレンダー」、五年生は和太鼓演奏「銀河」、六年生は卒業演奏「カルメン」組曲を発表しました。どの発表も、これまでの積み重ねが感じられる充実した内容でした。

二つ目の展示では、各学年の生活科、社会科、国語科の学習成果や、全学年の図工作品・書写作品・礼法作品、五・六年生の家庭科とコンピュータ作品が発表されました。熱心に見ている親子の姿が印象的でした。



三つ目の後援会の催しでは、レストラン、茶房、喫茶、バザー、そして児童が最も楽しみにしている「おまつりひろば」が行われ、大盛況に幕を閉じました。



舞台発表の終わりに行われる全校ページェント「輝け聖徳」では、学校でのさまざまな活動を振り返りながら、未来に向かって大きく羽ばたく附属小学校の姿を、歌や合奏や呼びかけで発表しました。毎年恒例、十六枚のカードを組み合わせて完成させる「和のカード」の今年のデザインは、二年生の山田創太くんのアイデアが採用され、当日は六年生の代



お店の工夫が分かった スーパーマーケット見学

附属小学校の三年生は、十月五日(金)に近隣のスーパーマーケット「ベルクス」に社会科見学に行きました。スーパーマーケットを見学先に選んだ理由は、自分の家庭が、普段どこで買い物をしているかの「買い物調べ」をした結果、一番多かったのがスーパーマーケットだったからです。見学では「お店の人がどんな工夫や努力をしているのか」、



「お店の奥ではどんな仕事が行われているのか」など児童が自分の疑問を解決するため、進んでインタビューをしました。仕事にも関わらず、店員の皆さんが笑顔で答える様子に印象的でした。児童は、普段入ることのできないスーパーマーケットの奥を見学し、肉を切る機械に触ることができました。普段見ることができない貴重な場面を目の当たりにして、目はキラキラと輝いていました。特に驚いたのは、自分の部屋ほどもある大きな冷蔵庫でした。みんなで中まで入らせてもらいました。

子どもが輝いた聖徳一輪車パレード

十月七日(日)、附属第二幼稚園の運動会で、附属小の代表児童が一輪車パレードを披露しました。参加したのは一年生七名、二年生三名、三年生六名の計十六名でした。全員が附属第二幼稚園の卒園生ということがアナウン



スされた時は、会場から拍手が起きました。パレードでは「メリーゴーランド」「トンネルくぐり」「スラローム」などの技がクラブデザインやテンポの良い曲に乗って発表されました。このパレード参加にあたり、約二週間にわたる朝と休み時間の特別練習が行われました。児童の上達はめざましく、参加

保護者からは、「突然うまく乗れるようになっていたので、びっくりしました。」との感想が寄せられました。残念ながら附属幼稚園の運動会には雨のため参加できませんでしたが、附属幼稚園出身の二十四人の代表児童も一生懸命練習し、技に磨きをかけていました。

今、一輪車が幼稚園の運動会でのパレードをきっかけに、一年生の中でブームになっています。今まで乗れなかった児童が、乗れるようになり、この波に乗って、児童全員が一輪車に乗れるようになってほしいと願っています。

幼稚園短信

楽しかったフエスティバル
港区立御田小学校との交流会
三田幼稚園

今年で三年目を迎えた、

近隣の港区立御田小学校と一・二年生と年長組との交流会が十月三日(水)に行われました。交流会は、小学校一・二年生が自分で考えたおもちゃを、作り方から遊び方まで教えてくれる手作りの遊びの会です。年長組の園児達も小学校のお兄さん・お姉さんが教えてくれることで普段とは違った緊張した表情でしたが、小学生の優しい言葉に安心して、作るものへの興味を膨らませて参加していました。

三田幼稚園の卒園生も毎年入学していることもあり、小学生は後輩の年長組の園児が来るこの日を楽しみに待っていて、笑顔で出迎えてくれます。幼稚園では年長組として頑張っている園児達も、優しく声を掛けられたり、手を引いてもらったり、とても嬉しそうでした。園児からも、「楽しかった」「また行きたい」「幼稚園とお部屋が違った」などと聞かれ、大事に作った物を持ち帰りました。短い時間でしたが小学生とのふれあいの時間を持つことで、小学校への



秋の遠足

多摩中央幼稚園

秋の遠足は、五歳児松組は高尾山に行き、四歳児梅組は三歳児桜組と合同で府中市郷土の森に行きました。

お母さんが作ってくれたお弁当を背負った園児達は園バスに乗り、期待を膨らませ、緑豊かな郷土の森に到着しました。最初の見学は昔の建築物です。現在の建築物と昔の建築物との違いを話しながら太陽の光をあびて、虹の見える噴水や、芝生の広場に荷物を置いて、散策に出掛けました。水車を見ては「速く回ったり、遅くなったりしているよ!」と驚いたり、水の力で回っているという仕組み



にも気付くことができました。稲刈りされたばかりのお米を見たり、「トトロに会えるかなあ」とわくわくしながら通った萩のトンネル、そして匂いに誘われてたどり着いた所には金木犀の木がありました。「大きなどんぐりお土産にしたいなあ」とどんぐりを拾いながら広場まで戻って来ました。そして待ちに待ったお弁当も皆残さずに食べていました。「ごみは捨てちゃいけないだよ」とお弁当のゴミを靴の中に入れてしまっていました。公衆道徳を守り、環境を大切にする気持ちを持つことも大切な今回の遠足のねらいです。園児達なりに公共のマナーを守ろうと考へ、行動する姿に保育者として嬉しく思いました。午後は広場で思いっきり走ったり、丘の上からごろごろ転がってみたり、存分に自然に触れて過ごした一日でした。

秋の自然に触れて、昔の風情ある建築物を見学し、普段の保育では味わうことのできない沢山の経験ができた良い機会となりました。

関心も膨らみ、期待も高まるきっかけとなります。校長先生からは「幼稚園を卒業した児童が、後輩の園児や先生方の来校を喜び、心に残る訪問でした」と伺いました。今後も交流の会を続け、和をつなげていきたいと思えます。

待ちに待った運動会

附属幼稚園

九月三十日(日)に予定していた運動会は、雨のため延期となり、十月三日(水)に行われました。待ちに待った運動会は園児達が作った沢山のてらてる坊主が見守る中、ファンファーレが響き、開会式を迎えました。平日となったことで園児の競技をすべて午前中に行うなど、プログラムの変更もありましたが、思った以上に父親や祖父母の方の参加も多く、楽しくぎやかな運動会になりました。

「戸外で行う総合的な表現活動」ということから、運動はもちろん、リズム表



現や製作、言葉での表現などいろいろな面での活動を見ていただきました。かけっこ、三才児四才児による遊戯や玉入れ、五才児のダンスゲーム、障害物競走、鈴割り等、各々の発達段階を考慮した競技等が次々と行われました。

午前中の最後は、四才児・五才児のクラス対抗リレーです。小さなリングのバトンをどの園児も懸命につなぎ、選手も観客も一つになり、運動会ならではの興奮と大きな感動を共感することができました。



午後には母親、父親、祖父母、そして未就園児等の競技を行いました。そして、この日のフィナーレは、母と子のフォークダンスです。どの親子も皆、にこやかに楽しそうに踊り、微笑ましくあたたかい雰囲気の中に終えることができました。

運動会を終えて

八王子中央幼稚園

園児達がとても楽しみにしていた運動会が、十月七日(日)、天候に恵まれた中、東京工業高等専門学校のグラウンドにて、盛大に行われました。

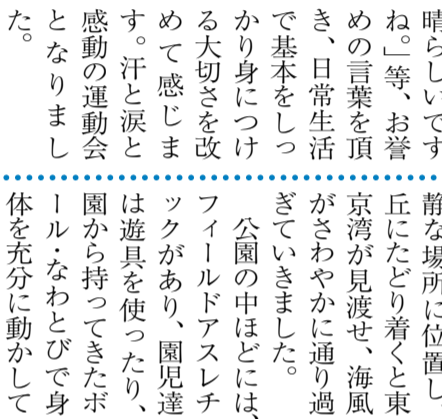
入園・進級後、体を動かして来た運動面の成長や友達と一緒に最後までやり遂げる姿を見ていただける良い運動会になりました。

一人ひとりが自信に満ちた表情で入場行進をして、全園児で準備体操のたけのこ体操を行い、体をほぐした後、元氣一杯かけっこを行いました。学年により走る距離が少しずつ長くなりますが、どの園児も最後まで諦めずに一生懸命走り切る事ができました。年長児は、友達に負けな



いという競争意欲も芽生え、とても真剣な表情でゴールを目指していました。幼稚園で一生懸命練習してきた遊戯を広いグラウンドで、友達と一緒に楽しく踊る事もできました。

年少児は「ドラえもん」になりきって踊り、年中児は「動物園」をテーマに元氣一杯動物を表現し、年長児はワンスやボンボン、パルーンと様々な手具を使い学年が一つになって「遊園地」をテーマに踊る事ができました。又、年長児らしく綱引きも挑戦し大盛況の中、行なうことができました。保護者の方の競技や綱引きは大迫力で、見て



この運動会は、日常生活の中で培っている体力面の成長や発達を見て頂ける良い機会となります。保護者から「年長組になると一人ひとりしっかりしていますね。」「リレーの走り方も素晴らしいです。晴らしいですね。」等、お誉めの言葉を頂き、日常生活がさわやかに通り過ぎていきました。



公園の中ほどには、フィールドアスレチックがあり、園児達は遊具を使ったり、園から持ってきたボール・なわとびで身体を充分に動かして

新京成バス見学ツアー

附属第二幼稚園

まだ残暑が残る九月十日(月)に「新京成バス見学ツアー」に行きました。

これは「バスの日」にちなんで松戸新京成バス株式会社の初めての企画に招待を受けて実施されました。バス見学の話をすると園児達は皆で飛び上がって喜び、大きな関心を寄せていました。



あるバスが特別な乗り物に感じられたようです。いよいよ待ちに待った当日、迎えに来た観光バスに乗り込むと、大きな歓声をあげバスの中を見渡したりと嬉しい気持ちを抑え切れない様子でした。

小金原のバス案内所を経由し、紙敷の車庫へと向かいました。案内所では生まれて初めてバスに乗ったまま、バス専用の大きな洗濯機の中を通り、水飛沫を目の前にして大興奮で目を輝かせていました。紙敷の車庫では、整備の為に機械で持ち上げられたバスを見て、「すごい！バスの病院だ！」と普段は見ることのできないバスの仕組みと迫力に圧倒されていました。



その後、バスのスケッチをしたり、バス会社の方に記念写真を撮って頂いたりとお楽しみ会も楽しめました。限定された時間ではありましたが、園児達の為に細かい所まで配慮して下さった新京成バスの皆様に感謝したいと思います。

潮風をからだいっぱい

附属浦安幼稚園

十月二十五日(木)、年中梅組の園外保育が行われ、今年八月にでき上ったばかりの浦安市総合公園に遠足に行きました。

当日は、快晴に恵まれ、園の玄関から三才児と五才児に見送られ、十分位歩いて、公園に着きました。公園は閑静な場所に位置し、丘にたどり着くと東京湾が見渡せ、海風がさわやかに通り過ぎていきました。



遊び、また色づき始めた葉や、まつぼっくりを拾い集めたりして秋を楽しむことができました。昼食はお母様手作りの色とりどりの愛情弁当をお腹いっぱい食べました。天高き秋空の下で、五感を通しての体験が、園児達の発達に必要な経験として身につくよう、援助していきたいと思えます。

緊急時の対応訓練を実施しました

附属第三幼稚園

附属第三幼稚園では、避難訓練の他に緊急時の安全確保のために訓練をしています。九月二十八日(金)に交通安全指導、十月九日(火)に不審者侵入訓練を実施しました。

成田市交通安全課による交通安全指導では、お話を伺い、ビデオ視聴後園児に対して「こんなときどうしたらいいの?」Q&Aクイズを行いました。

「信号のない交差点で気をつけることは?」
Q「道を歩くときに注意することは?」
A「お母さんと手をつなぎ車

「おかしも」は、押さない、駆けない、しゃべらない、戻らないですが、「いかのおすし」は、知らない人についていけないの「いか」、知らない車にのらないの「お」、おきな声を出すの「お」、すぐに逃げるの「す」、大人の人に知らせるの「し」ということでした。

また、教職員には幼稚園に不審者が侵入してきた時の対処法として、実際に刺

今後日頃から防犯訓練を実施して、幼稚園生活が安全に送れるように心がけてまいります。



股を使つての訓練をしました。刺股は、侵入者を捕まえる為だけではなく、園児を安全に避難させ、警察が来るまでの間、防衛するために使用するものであることを教わりました。また、刺股に代用できるものとしてどんなものが園内にあるのかを探するなど、実践しながらに訓練しました。

平成20年度 入試日程

聖徳大学大学院通学課程 [共学/昼・夜開講]

研究科	課程	入試区分	願書受付期間	入試日
児童学/臨床心理学/言語文化/人間栄養学	前期	一般C・社会人特別C 私費留学生特別C	1月21日(月)~ 2月 5日(火)	2月10日(日)
	後期	一般C・社会人C	1月21日(月)~ 1月31日(木)	2月10日(日)
音楽文化	前期	一般C・社会人特別C 私費留学生特別C	1月21日(月)~ 2月 5日(火)	2月 9日(土) 2月10日(日)
	後期	一般C 社会人C	1月21日(月)~ 1月31日(木)	2月 9日(土) 2月10日(日)

聖徳大学大学院通信教育課程 [共学]

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
4月生	博士前期4月生(A日程)	12月10日(月)~ 1月23日(水)	1月27日(日)
	博士前期4月生(B日程)	1月28日(月)~ 3月 4日(火)	3月 8日(土)
	博士後期4月生	12月10日(月)~ 1月23日(水)	2月24日(日)

聖徳大学児童学部(女子)・人文学部(女子)・音楽学部(女子)・聖徳大学短期大学部(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
大学/短大	公募推薦後期・地域特別推薦後期	11月26日(月)~12月 6日(木)	12月8日(土)*1
	自己推薦C	11月26日(月)~12月 6日(木)	12月8日(土)*1
	AO後期	11月26日(月)~12月19日(水)	12月24日(月・祝)
	ターミナル・地区試験場(選抜)	1月 7日(月)~ 1月23日(水)	1月27日(日)
	特別奨学生後期	1月 7日(月)~ 1月23日(水)	1月27日(日)
	センターA	1月 7日(月)~ 1月18日(金)	— *2
	一般A	1月 7日(月)~ 1月25日(金)	1月28日(月)~1月30日(水)*3
	社会人・帰国子女・私費留学生B	1月 7日(月)~ 1月23日(水)	1月27日(日)
	センターB	1月 7日(月)~ 2月20日(水)	— *2
	一般B	2月 4日(月)~ 2月20日(水)	2月22日(金)~2月23日(土)*4
	センターC	2月25日(月)~ 3月 7日(金)	— *2
	一般C	2月25日(月)~ 3月 7日(金)	3月11日(火)~3月12日(水)*4
私費留学生C	2月25日(月)~ 3月 5日(水)	3月11日(火)	

*1 音楽学部入試日:公募後期・地特後期・自己C 12/9(日)
 *2 音楽学部入試日:センターA 1/29(火) センターB 2/23(土) センターC 3/11(火)
 *3 一般A日程の入試日は、学科により指定日あり。
 *4 入試日自由選択制 [音楽学部は指定日:一般B 2/23(土) 一般C 3/11(火)]

◎一般入試A日程 入試日別実施学科

入試日	実施学科
1月28日(月)	全学部、全学科
1月29日(火)	児童学、女性キャリア学科、外国語学科、演奏学科、音楽総合学科、介護福祉学科、総合文化学科
1月30日(水)	社会福祉学科、心理学科、生涯教育文化学科、英米文化学科、日本文化学科、人間栄養学科、保育科

聖徳大学人文学部編入学(女子) 聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
編入学	内部推薦B 一般B・学士B・社会人特別B	11月26日(月)~12月 6日(木)	12月8日(土)*5
	内部推薦C 一般C・学士C・社会人特別C	2月 4日(月)~ 2月20日(水)	2月23日(土)
専攻科	内部推薦D 一般D・学士D・社会人特別D	2月25日(月)~ 3月 7日(金)	3月11日(火)
	内部推薦B・一般B	11月26日(月)~12月 6日(木)	12月 8日(土)
	内部推薦C・一般C	2月 4日(月)~ 2月20日(水)	2月23日(土)
	内部推薦D・一般D	2月25日(月)~ 3月 7日(金)	3月11日(火)

*5 音楽文化学科入試日:12/9(日)

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)

入試区分	事前相談(予備面談)	願書受付期間	最終試験
AO入試(後期)	11月24日(土)~1月21日(月)	1月 8日(火)~1月24日(木)	1月26日(土)

入試区分	願書受付期間	入試日	
推薦・特別入試	前期D日程	11月26日(月)~12月20日(木)	12月22日(土)
	後期A日程	1月 8日(火)~ 1月24日(木)	1月26日(土)
	後期B日程	1月28日(月)~ 2月 7日(木)	2月 9日(土)
	後期C日程	2月12日(火)~ 2月21日(木)	2月23日(土)
一般入試	前期D日程	2月25日(月)~ 3月14日(金)	3月16日(日)
	前期B日程	11月26日(月)~12月20日(木)	12月22日(土)
	後期A日程	1月 8日(火)~ 1月24日(木)	1月26日(土)
	後期B日程	1月28日(月)~ 2月 7日(木)	2月 9日(土)
	後期C日程	2月12日(火)~ 2月21日(木)	2月23日(土)
	後期D日程	2月25日(月)~ 3月14日(金)	3月16日(日)

聖徳大学附属中学校(女子)・聖徳大学附属高等学校(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
中学	推薦専願入試	11月13日(火)~11月29日(木)	12月 1日(土)
	選抜入試第1回(午前/午後)	11月 5日(土)~ 入試日当日	1月20日(日)
	選抜入試第2回(午前)		1月22日(火)
	選抜入試第3回(午前)		2月 5日(火)
選抜クラス・特准入試		1月26日(土)	
高校	前期選抜単願推薦	1月 7日(月)~1月11日(金)	1月16日(水)
	前期選抜併願推薦		1月16日(水)または1月17日(木)
	音楽科 前期選抜単願推薦		1月16日(水)
	音楽科 後期選抜	1月19日(土)~1月25日(金)	1月28日(月)

聖徳大学附属聖徳中学校(女子)・聖徳高等学校(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
中学	推薦入試	11月24日(土)~12月 1日(土)	12月 2日(日)
	一般入試(第1回)	11月24日(土)~ 1月 5日(土)	1月 6日(日)
	一般入試(第2回)		1月 7日(月)
	一般入試(第3回)		2月 2日(土)~ 2月 8日(金)
	特准入試	11月24日(土)~ 1月11日(金)	1月13日(日)
高校	推薦入試	12月18日(火)・19日(水)	1月 9日(水)
	一般入試	1月11日(金)・12日(土)	1月19日(土)

聖徳大学附属小学校(共学)

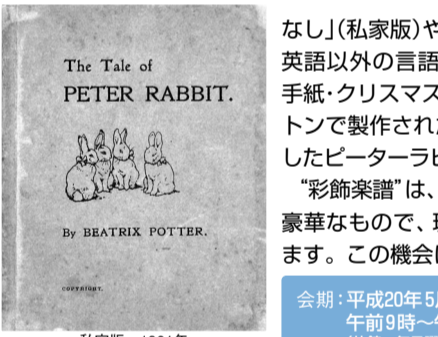
入試区分	願書受付期間	入試日
一般入試第II期	11月26日(月)~12月 6日(木)	12月8日(土)

平成19年度 第Ⅲ期 SOA 公開講座のご案内

平成19年度第Ⅲ期(通算第46期)SOA公開講座を、平成20年1月から3月にかけて開催いたします。今年度のSOA年間テーマ「家族」にちなんで講座や地域を取り上げた講座など、特設講座、キッチンスタジオ、教育・心理、文学、生活・環境、社会・福祉、情報・ビジネス、芸術・文化、健康・スポーツ、語学の10ジャンルにわたり、約150の講座をご用意し、皆様のお越しを心よりお待ちしております。なお、受講お申込みは12月12日(水)より承ります。

特別展覧会 聖徳大学児童学部・音楽学部開設記念

「ピーターラビットの世界」展
好評開催中!!
「中世ヨーロッパの彩飾楽譜」展
12月5日(水)より開催!!



会場: 聖徳大学8号館1階 クリスタルホールギャラリー
利根川光人記念ギャラリー
【お問い合わせ】
聖徳大学川並記念図書館
〒271-8555 松戸市岩瀬550番地 Tel.047-365-1111(大代)

聖徳大学児童学部・音楽学部開設を記念して、本学の世界的なコレクションの中から、子どもたちに人気の高い「ピーターラビット」に関する貴重資料と美しい音楽資料である「彩飾楽譜」を、松戸キャンパス8号館クリスタルホール1階のギャラリーと、利根川光人記念ギャラリーでそれぞれ公開しています。

「ピーターラビット」の展示品は、1901年に自費出版された大変貴重な「ピーターラビットのおはなし」(私家版)やピーターラビット・シリーズ23話すべての初版本、英語以外の言語に翻訳された本、ピアトリクス・ポターの自筆の手紙・クリスマスカード、イギリス王室御用達であるロイヤル・ドルトンで製作されたフィギュア、有名な人形作家ジョン・ライトが制作したピーターラビットのぬいぐるみなど約200点です。

「彩飾楽譜」は、中世ヨーロッパでつくられ、色鮮やかに装飾された豪華なもので、現在の音符とは異なる文字や記号で表現されています。この機会に是非ご覧ください。



講座名 第Ⅲ期 SOA 開講予定講座(抜粋) 講師名

旅の楽しみ方、創り方	福留・清水・茂木・西村
食卓の家族論	室田 洋子
家族の財産は誰が守るⅡー相続についてー	甲斐 聡
続・大作曲家とその家族	山本まり子
女性のための「おしゃれで素敵なランチPart3」	長江 曜子
やさしい料理教室	桂・今井・上野
日本語教育と日本人	近藤 圭一
將軍綱吉とある大名の命運	福留 真紀
源氏物語入門	赤塚 雅己
『十八史略』を読むー中国の歴史を動かした英雄たちの物語ー	進藤 英幸
中国茶の楽しみ	工藤 佳治
宇宙と地球2008	木村 常在
旅を楽しむためのやさしい地質学	渋谷 紘
男の料理教室	秋谷・桂・佐伯・上野
「折り紙」で楽しく脳トレ	西川 光恵
パーソナルカラー検定にチャレンジ	山川やえ子
陳式健康太極拳	小川 直樹
初歩の発音から始めるフランス語	小島 慶一
今日から話せる旅行英会話	大木 忠郎
はじめてのドイツ語 その1ー外国語を学ぶ楽しさを知るー	清水 修

*語学講座として、英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・イタリア語・ポルトガル語・中国語・韓国語の各講座がございます。
 *詳細につきましては、どうぞお気軽に、生涯学習課047-365-3601までおたずねください。

聖徳学園の宿泊施設のご案内 温泉へ 冬の旅行に出かけよう! 富士の裾野へ

身も心も温かく 信州春日温泉 かすが荘
長野県佐久市春日2258-1
冬の旅行といえば温泉は外せません。寒い冬もかすが荘の温泉に浸れば体の芯からぽかぽかと温まります。また、かすが荘ではお正月には餅つきや鏡開きなど、昔ながらの催し物が行われます。現在ではなかなか体験できないことかと思しますので、この機会にどうぞ、ご家族、ご友人お誘いあわせの上、かすが荘までお越しくださいませ。



年の初めを富士の地で 聖徳学園 山中湖荘
山梨県南都留郡山中湖村平野506
初夢に関することわざに「一富士、二鷹、三茄子」というものがあるように、富士山は大変縁起がいい物とされており、また、現在、山中湖花の都公園ではイルミネーションが灯されています。幻想的なイルミネーションと美しい星空がきっとあなたの心を温めてくれます。

ご予約・お問合せは現地フロント係が承ります。お気軽にお問合せください。かすが荘 TEL:0267-52-2111 山中湖荘 TEL:0555-62-3111
各施設の詳細は本学園ホームページでもご覧いただけます。どうぞご覧下さい! http://www.seitoku.jp/gakuen/house/

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(大代)
発行人 川並弘昭
編集 企画渉外課
07.12.1 re (30.0)

この印刷物は古紙配合率100%再生紙を使用しています。
この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。
The 75th Anniversary

読者の欄
学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆様の広報誌です。つきましてはインターネットを利用して皆様の聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。お手数ですがご協力のほどよろしくお願いいたします。今後、ますます充実させていきたいと思いますので、是非皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。
〈アンケートURL〉 http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/index.html
〈ご意見・ご感想の宛て先〉
〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園 「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネットからは http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/ の「その他のご意見・お問い合わせ」まで)